

● M社は、正社員数約10名、アルバイト1名で中古車販売、レンタカー事業を行っている企業である。社長自身は40歳代であり、過去には自動車ディーラー勤務経験もあるが、多くの正社員は20～30歳代と若い社員である。

● 同社では、採用の際にも、実際に雇用した際に直接の上司となる店舗リーダーがまず一次面接を行って、その後、二次面接を社長が行うという面接パターンを採用しており、直接の上司と馴染める人間かどうか、ということを重視している。

● それでも、最近では8名ほどを新規雇用したが、3名ほどは既に辞職してしまっている。これには個々にいろいろな理由があるが、そもそも最初から「絶対に会社に居ついてくれる者」を見分けることには限界があるし、「定着してくれるだろうか？」と心配しな

がら雇用しても、結局やむを得ない理由で辞めてしまうこともあるので、最初から「去る者は追わない」方針で思い切って採用することとしている。

● 採用時点で必要以上に躊躇するより、思い切って採用して、そのうち何人が残ってくれば良い、という思いで採用した方が、手間や迷いが生じないし、辞められたときに自分たちも落ち込まないというメリットもあると感じている。